

仕 様 書

[illegible]

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、小規模崩壊地復旧工事（新倉一丁目）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ・その他関連規格類

第2節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 第3節 週休2日工事等
本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日適用工事等実施要領（農林水産工事）」に基づき実施するものとする。

第2章 施工条件

第1節 安全対策

1 工事中の安全確保

建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課（令和3年3月）を参考とすること。

第2節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所

株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第3節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。

2 法定外の労災保険 の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに 代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4節 情報共有システム

1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。また、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

4 情報共有システムを利用した書類は、決裁データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R（中間検査時1部、完成時2部）にて提出すること。ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。

5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。

6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3章 その他

第1節

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節

事業名、施工年度、施工主体などを明示した銘板(200×150×10mm) について、文字等について承諾を受けて製作し、施工箇所に設置すること。

(参考)

小規模崩壊地復旧事業

(〇〇地区)

令和7年度

三 原 市

施工 (有)〇〇建設

工事数量総括表

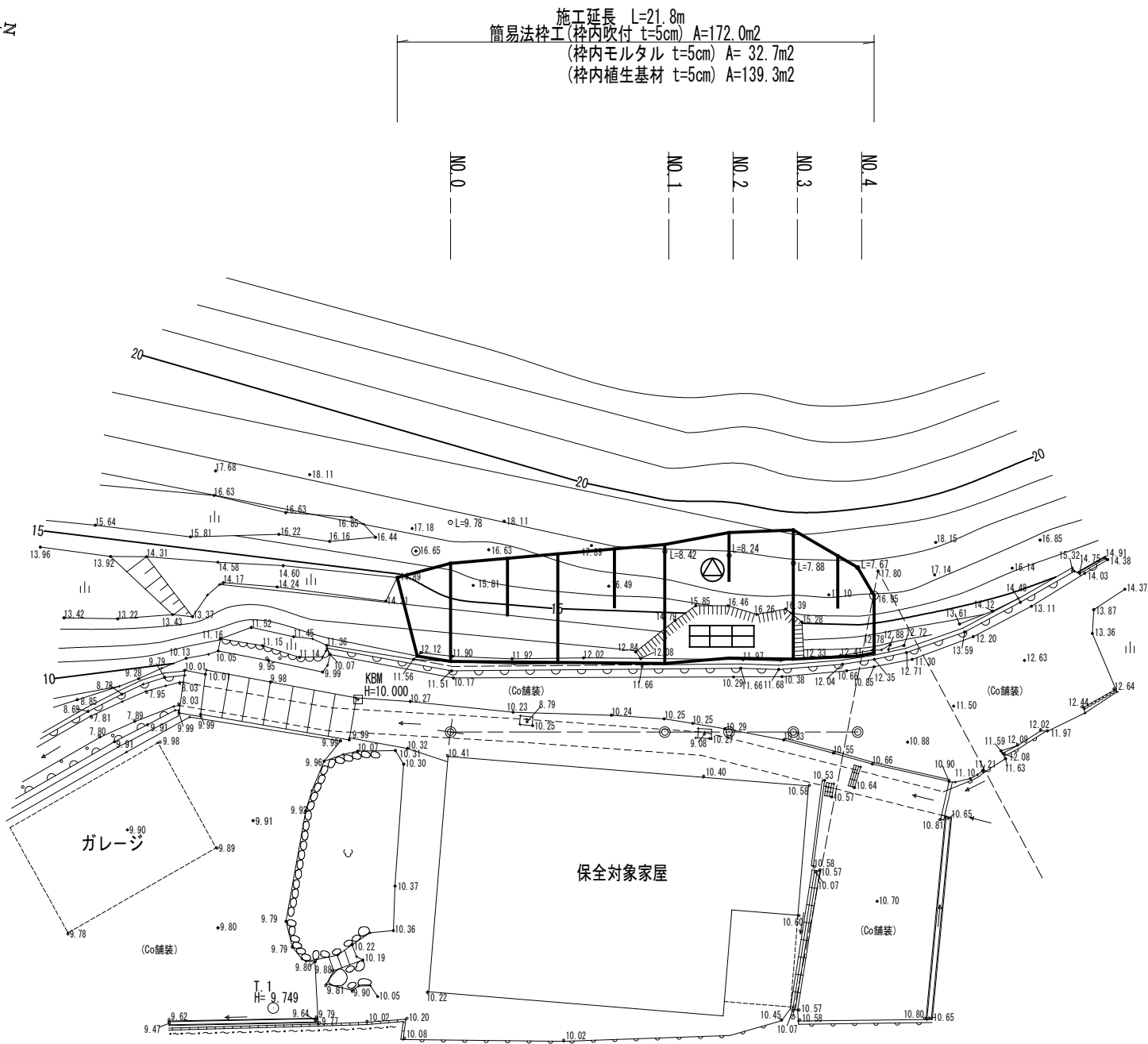
頁0 -0001

	費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	備 考
本工事費						
山腹工			式		1	レベル 1
治山土工			式		1	レベル 2
残土処理工			式		1	レベル 3
ダンプトラック運搬			m3		49	レベル 4
処分費			m3		49	レベル 4
法切工			式		1	レベル 2
法切工			式		1	レベル 3
土砂法切			m3		49	レベル 4
法面工			式		1	レベル 2
法枠工			式		1	レベル 3
簡易法枠			m2		172	レベル 4
堤名板			枚		1	レベル 4
取壊工			式		1	レベル 2
取壊工			式		1	レベル 3
コンクリート取壊			m3		0.5	レベル 4
コンクリート殻運搬			m3		0.5	レベル 4
処分費			m3		0.5	レベル 4

工事数量総括表

費目・工種明細など		規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	備 考
仮設工			式		1	レベル 1
仮設工			式		1	レベル 2
防護施設工			式		1	レベル 3
仮設防護柵			式		1	レベル 4
直接工事費						
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
（ 純工事費 ）						
現場管理費						
（ 工事原価 ）						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格計 * *						
* * 消費税相当額計 * *						
* * 請負工事費計 * *						

平面図 S=1/200

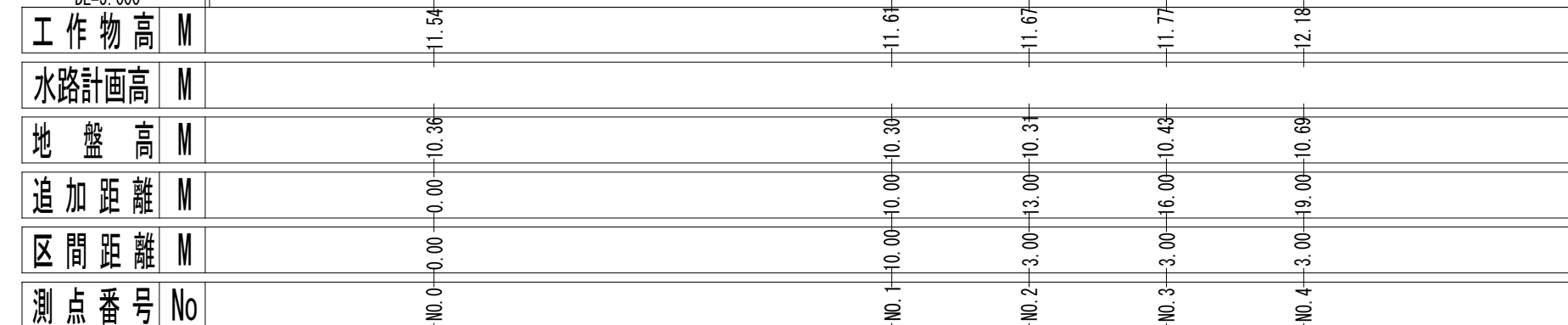


凡 例	
	法切工
	簡易法砕工 (枠内モルタルt=5cm)
	簡易法砕工 (枠内植生=5cm)

全 3 葉 中 1 番

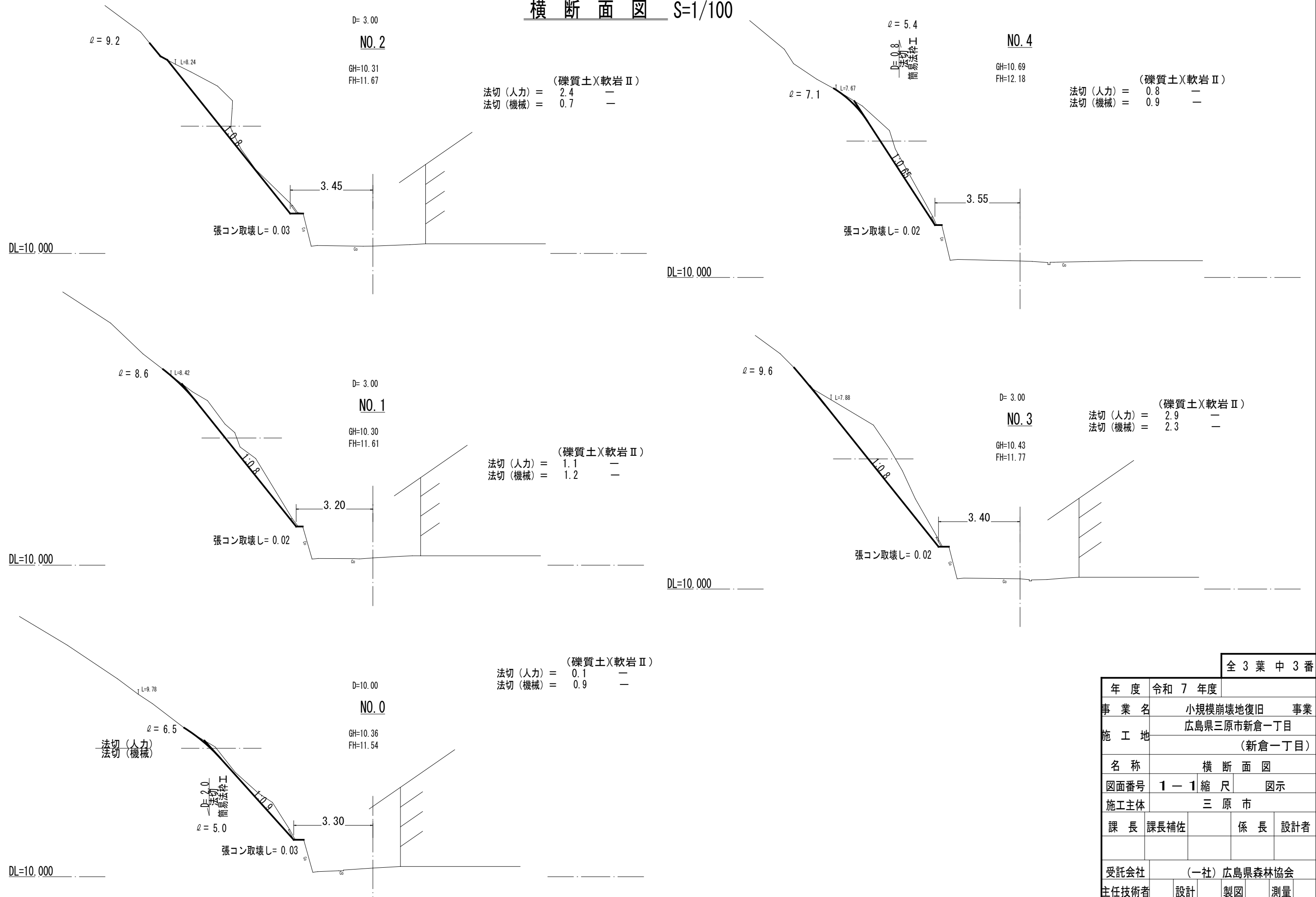
年 度		令和 7 年度			
事 業 名		小規模崩壊地復旧 事業			
施 工 地		広島県三原市新倉一丁目 (新倉一丁目)			
名 称		平 面 図			
図面番号		1 — 1	縮 尺	図 示	
施工主体		三 原 市			
課 長		課長補佐		係 長	設計者
受託会社		(一社) 広島県森林協会			
主任技術者		設計	製図	測量	

H · S=1:100
V · S=1:100



				全 3 葉 中 2 番			
年 度		令和 7 年度					
事 業 名		小規模崩壊地復旧 事業					
施 工 地		広島県三原市新倉一丁目 (新倉一丁目)					
名 称		縦 断 面 図					
図面番号		1 — 1		縮 尺		図 示	
施工主体		三 原 市					
課 長		課長補佐		係 長		設計者	
受託会社		(一社) 広島県森林協会					
主任技術者		設計		製図		測量	

横断面図 S=1/100



全 3 葉 中 3 番

年 度	令和 7 年度			
事 業 名	小規模崩壊地復旧 事業			
施 工 地	広島県三原市新倉一丁目 (新倉一丁目)			
名 称	横 断 面 図			
図面番号	1 — 1	縮 尺	図示	
施工主体	三 原 市			
課 長	課長補佐		係 長	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会			
主任技術者	設計		製図	測量

参 考 資 料

— 小規模崩壊地復旧工事（新倉一丁目） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.09.01(0)	
諸経費体系	B 公共 (R01.06 ~)	
	当世代	前世代
工種区分 復興補正区分 施工地域・工事場所区分 週休補正区分 緊急工事補正区分 積雪寒冷地補正 前払率（％） 契約保証費区分 工事費端数区分 I C T 補正区分	03 治山・地すべり工事 00 補正なし 00 補正なし 07 4 週 8 休以上(現場閉所) 00 通常工事 00 補正なし 40 01 0 . 0 4 % 01 千円未満切捨て 00 補正なし	

本工事費

内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
山腹工						レベル 1
治山土工	1		式			レベル 2
残土処理工	1		式			レベル 3
ダンプトラック運搬	1		式			レベル 4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	49		m3			00
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)	25		m3			単第0 -0001 表 00
処分費	49		m3			単第0 -0002 表 レベル 4
処分費等(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる	49		m3			

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
法切工	受入費										
		49		m3							レベル 2
法切工		1		式							レベル 3
		1		式							レベル 4
土砂法切		49		m3							00
	のり切工（人力）	25		m3							単第0 -0003 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準		24		m3							00
											単第0 -0004 表
法面工		1		式							レベル 2
		1		式							レベル 3
法枠工		1		式							レベル 4
	簡易法枠	172		m2							

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
簡易法枠工（枠内モルタル工） 枠内モルタル吹付（厚5cm）	32.7	m2							00	単第0 -0005 表
簡易法枠工（枠内植生工） 枠内植生基材吹付（厚5cm）	139.3	m2							00	単第0 -0015 表
堤名板	1	枚								レベル 4
林道名板（ A 型・アルミ軽合金） 2 0 0 × 1 5 0 × 1 0 mm	1	枚							00	
取壊工	1	式								レベル 2
取壊工	1	式								レベル 3
コンクリート取壊	0.5	m3								レベル 4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.5	m3							00	単第0 -0018 表
コンクリート殻運搬	0.5	m3								レベル 4

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ダンプトラック運搬 4 t 積 コンクリート塊 L = 6.1km									00	
	0.5		m3						単第0 -0019 表	
処分費									レベル 4	
	0.5		m3							
処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる										
受入費										
	1.2		t							
仮設工									レベル 1	
	1		式							
仮設工									レベル 2	
	1		式							
防護施設工									レベル 3	
	1		式							
仮設防護柵									レベル 4	
	1		式							
仮設防護作工（単管） 設置期間3ヶ月									00	
	18		m						単第0 -0021 表	

本工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
共通仮設費率分額						
共通仮設費計						
(純工事費)						
現場管理費						
(工事原価)						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						

本工事費

内訳表

頁0 -0007

[illegible]

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 27.26% 労務構成比: 61.70% 材料構成比: 11.04% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040007
小規模(標準)

単第0 -0001 表
1
標準単価: 1,068.6000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

頁0 -0009

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 24.45% 労務構成比: 63.42% 材料構成比: 12.13% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040002
DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)

単第0 -0002 表
1
標準単価: 3,179.6000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44 距離12.0km以下(9.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

のり切工（人力）

單第0 -0003 表

頁0 -0010

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.26%

SPK24040001
標準
61.70%

労務構成比:
材料構成比: 11.04%

単第0 -0004 表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 1,212.3000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

頁0 -0012

簡易法枠工（枠内モルタル工）
枠内モルタル吹付（厚5cm）

単第0 -0005 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面清掃工 [簡易法枠（ B ）]	100	m2			単第0-0006 表
ラス張工 [簡易法枠]	100	m2			単第0-0007 表
鉄筋・組立枠設置工 [簡易法枠] H=150	100	m2			単第0-0009 表
アンカー工 [簡易法枠（ B ）] φ 16 L=750mm 砂質土・礫混り土・玉石混り土	52	本			単第0-0010 表
法枠吹付工（モルタル） [簡易法枠]	5.27	m3			単第0-0011 表
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]100m2未満	55.9	m2			単第0-0014 表
計	100	m2			
小計	1	m2			

施工単価表

頁0 -0013

m2

当日

[illegible]

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.7	人			
法面工	2.2	人			
普通作業員	0.9	人			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型3次基準	0.6	日			単第0-0008 表
ひし形金網<JISG3552> 亜鉛めっき鉄線(Z-GS2) 線径2.0, 網目50mm	140.0	m2			
アンカーピン	30	本			
補助アンカーピン	150	本			
諸雑費	13	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
B=415 アンカーピン単価 (円 / 本)			C=51 補助アンカーピン単価 (円 / 本)		

施工単価表

頁0 -0015

機-16 発動発電機運転

ディーゼル45kVA

排出ガス対策型3次基準

單第0 -0008 表

1 日 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0016

鉄筋・組立枠設置工 [簡易法枠]

単第0 -0009 表

H=150

100

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	0.221	t			
簡易法枠組立枠 H = 1 5 0 W = 3 4 0 H = 1 4 0 L = 4 0 0	94.00	個			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	2.60	人			
普通作業員	0.50	人			
諸雑費	3.00	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=2 H=150 C=94 組立枠 (100m2当り個数)			B=1 D 1 0 D=0.189 異型棒工 (設計量) (100m2当りt数)		

施 工 単 価 表

頁0 -0017

アンカー工 [簡易法枠 (B)]

単第0 -0010 表

φ16 L=750mm

砂質土・礫混り土・玉石混り土

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アンカー	100	本			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	1.90	人			
普通作業員	1.00	人			
諸雑費率	4.00	%			
計	100	本			
小計	1	本			
A=2 H = 1 5 0			B=1 砂質土・礫混り土・玉石混り土		

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	5.46	t			4.2*1.3
コンクリート用砂 荒目(洗い)	16.12	m3			12.4*1.3
土木一般世話役	1.60	人			
法面工	3.20	人			
特殊作業員	3.20	人			
普通作業員	3.20	人			
繊維補強材	13.30	kg			
機-15_モルタルコンクリート吹付機運転 湿式・モータ駆動 能力0.8～1.2m3/h	11.20	時間			単第0-0012 表
ホイールローダ運転（賃料・法枠吹付工） ホイールローダ 0．3 4 m3	1.60	日			単第0-0013 表
諸雑費	19.00	%			
計	10	m3			
小計	1	m3			

法枠吹付工（モルタル）〔簡易法枠〕

施工単価表

單第0 -0011 表

頁0 -0019

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

機-15_モルタルコンクリート吹付機運転

湿式・モータ駆動 能力0.8~1.2m³/h

單第0 -0012 表

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

ホイールローダ運転（賃料・法枠吹付工）

ホイールローダ 0.34 m³

單第0 -0013 表

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

モルタル吹付工(枠内吹付)

单第0 -0014 表

厚5cm [規]100m²未満

1 m2 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0023

簡易法枠工（枠内植生工）
枠内植生基材吹付（厚5cm）

単第0 -0015 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面清掃工 [簡易法枠（ B ）]	100	m2			単第0-0006 表
ラス張工 [簡易法枠]	100	m2			単第0-0007 表
鉄筋・組立枠設置工 [簡易法枠] H=150	100	m2			単第0-0009 表
アンカー工 [簡易法枠（ B ）] φ 16 L=750mm 砂質土・礫混り土・玉石混り土	52	本			単第0-0010 表
枠シート設置工 [簡易法枠]	55.9	m2			単第0-0016 表
法枠吹付工（モルタル） [簡易法枠]	5.27	m3			単第0-0011 表
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]100m2以上250m2未満	55.9	m2			単第0-0017 表
計	100	m2			
小計	1	m2			

施工単価表

頁0 -0024

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

植生基材吹付工(枠内吹付)

單第0 -0017 表

厚5cm

[規]100m²以上250m²未滿

1

m2

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

構造物とりこわし工(無筋構造物)

單第0 -0018 表

1	m3	当り
---	----	----

機械施工

[illegible]

ダンプトラック運搬

頁0 -0027

单第0 -0019 表

1 m3 当り

コンクリート塊 $L = 6.1\text{km}$

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0028

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

単第0 -0020 表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.40	L			
運転手(一般)	0.17	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1	時間			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1	時間			
諸雑費	1	式			
小計	1	時間			
A=2 C=1 オンロード・ディーゼル・4 t 積級			B=1 D=0 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		

仮設防護作工（単管）
設置期間3ヶ月

施 工 単 価 表

単第0 -0021 表

頁0 -0029

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管足場賃貸料金 <単管類>丸パイプ(ドブめっき) 外径48.6mm×厚2.4mm×長1.0m	2,250	本・日			
単管足場賃貸料金(基本料) <単管類>丸パイプ(ドブめっき) 外径48.6mm×厚2.4mm×長1.0m	75	本			
<シート>ブルーシート 3.6×5.4,#2000	2	枚			
コンクリート型枠用合板-JAS品- 塗装品,厚12×幅900×長1800mm	3	枚			
土木一般世話役	0.49	人			
普通作業員	2.45	人			
雑材料	10	%			
諸雑費	1	式			
計	10	m			
小計	1	m			

三原市新倉一丁目

数量総括表

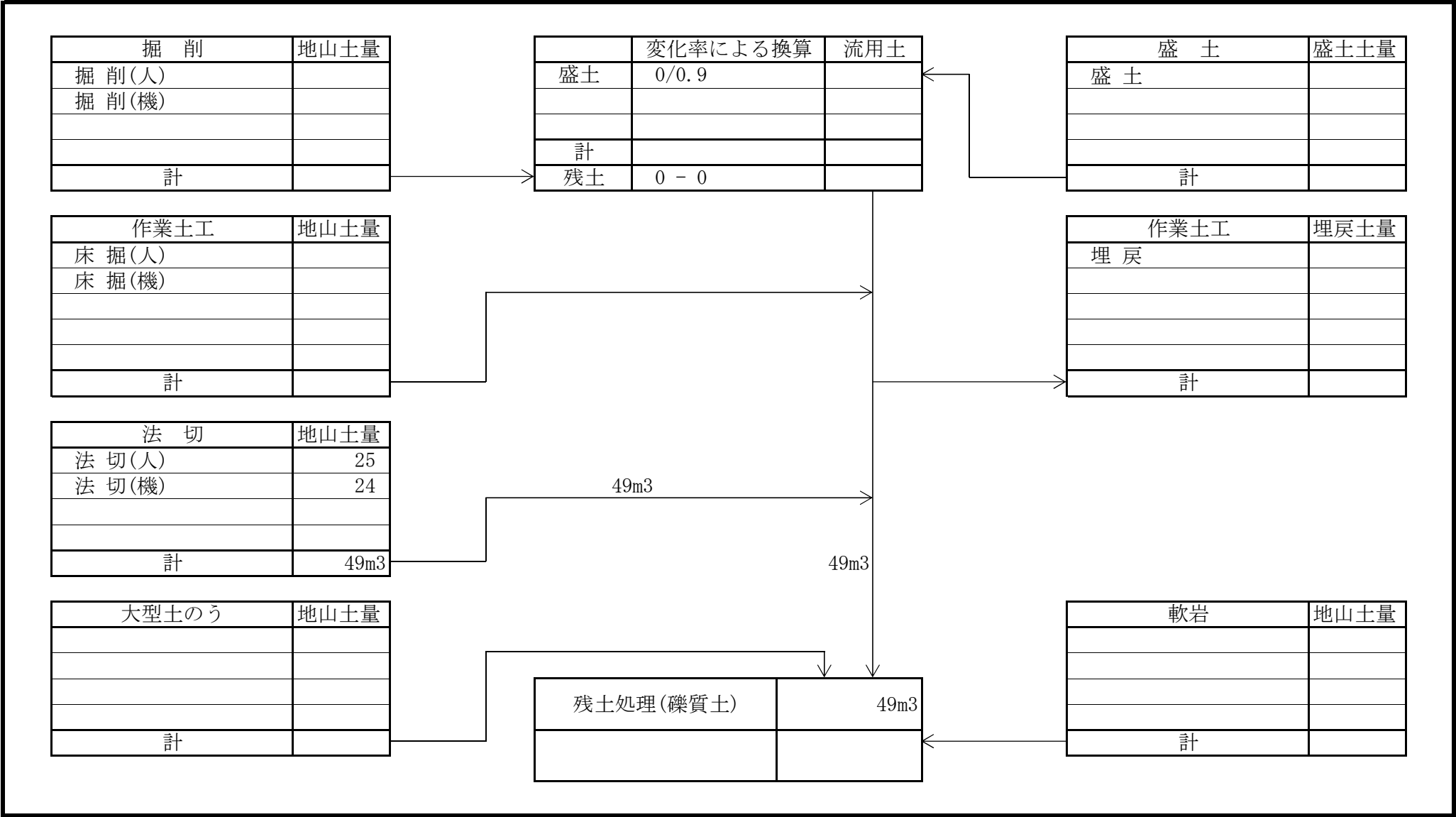
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備 考
山腹工	治山土工							
		残土処理工						土量配分表より
			積込（ルーズ）	機械		25	m3	バックホウ0.28m3積込（ルーズ）・ダンプトラック4t
			礫質土			49	m3	
	法切工							
		法切工						土量配分表より
			法切	機械	礫質土	24	m3	
			法切	人力	礫質土	25	m3	
	法面工							
		法砕工						
			簡易法砕工			172.0	m2	
				砕内吹付工	モルタル(t=5cm)	32.7	m2	
				砕内吹付工	植生基材(t=5cm)	139.3	m2	
			銘板工	林道銘板	A型200×150×10	1	枚	

三原市新倉一丁目

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備 考
	取壊工							
		取壊工						
			コンクリート	無筋		0.5	m3	
		運搬処理工						
			コンクリート殻運搬		無筋	1.2	t	0.5×2.35=1.18
仮設工	仮設工							
		防護施設工						
			仮設防護柵	H=2.0	単管	18.0	m	

土 量 配 分 表



法切工数量計算表

測点名	距離 (m)	法切 人力・礫質土				法切 機械・礫質土				張コンクリート取壊 無筋			
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積
		(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)
			0.0				0.0				0.03		
No.0		2.0	0.1	0.05	0.1	2.0	0.9	0.45	0.9	1.6	0.03	0.030	0.048
No.1	10.0	10.0	1.1	0.60	6.0	10.0	1.2	1.05	10.5	10.0	0.02	0.025	0.250
No.2	3.0	3.0	2.4	1.75	5.3	3.0	0.7	0.95	2.9	3.0	0.03	0.025	0.075
No.3	3.0	3.0	2.9	2.65	8.0	3.0	2.3	1.50	4.5	3.0	0.02	0.025	0.075
No.4	3.0	3.0	0.8	1.85	5.6	3.0	0.9	1.60	4.8	3.0	0.02	0.020	0.060
		0.8	0.0	0.40	0.3	0.8	0.0	0.45	0.4	0.8	0.02	0.020	0.016
合計	19.0	21.8			25.3	21.8			24.0				0.52
設計数量					25				24				0.5

三原市新倉一丁目

法面工 数量計算表

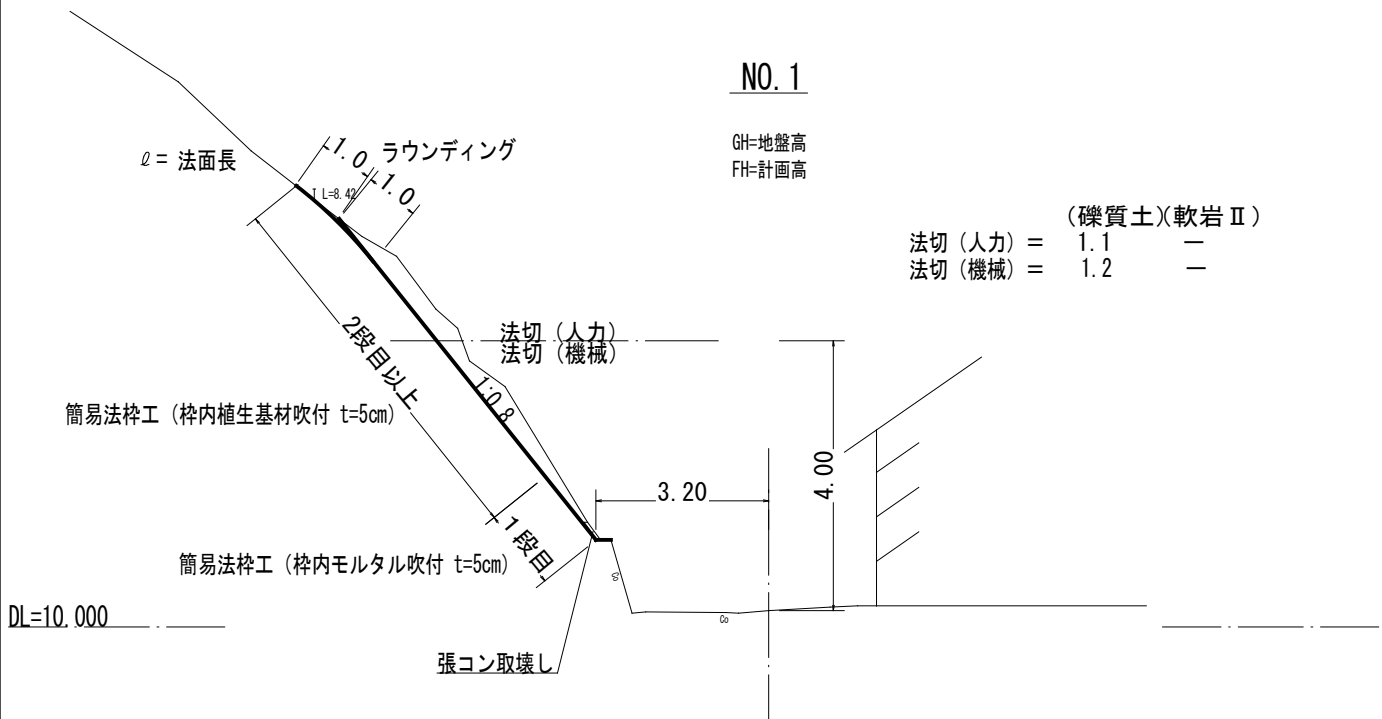
測点名	距離 (m)	簡易法砕工 Mタイプ 1500				モルタル (砕内t=5cm)				植生 (砕内t=5cm)			
		修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積
		(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m)	(m2)
			5.0				1.5				3.5		
No. 0		2.0	6.5	5.75	11.50	2.0	1.5	1.50	3.00	2.0	5.0	4.25	8.50
No. 1	10.0	10.0	8.6	7.55	75.50	10.0	1.5	1.50	15.00	10.0	7.1	6.05	60.50
No. 2	3.0	3.0	9.2	8.90	26.70	3.0	1.5	1.50	4.50	3.0	7.7	7.40	22.20
No. 3	3.0	3.0	9.6	9.40	28.20	3.0	1.5	1.50	4.50	3.0	8.1	7.90	23.70
No. 4	3.0	3.0	7.1	8.35	25.05	3.0	1.5	1.50	4.50	3.0	5.6	6.85	20.55
		0.8	5.4	6.25	5.00	0.8	1.5	1.50	1.20	0.8	3.9	4.75	3.80
合計	19.0	21.8			171.95				32.70				139.25
設計数量					172.0				32.7				139.3

三原市新倉一丁目

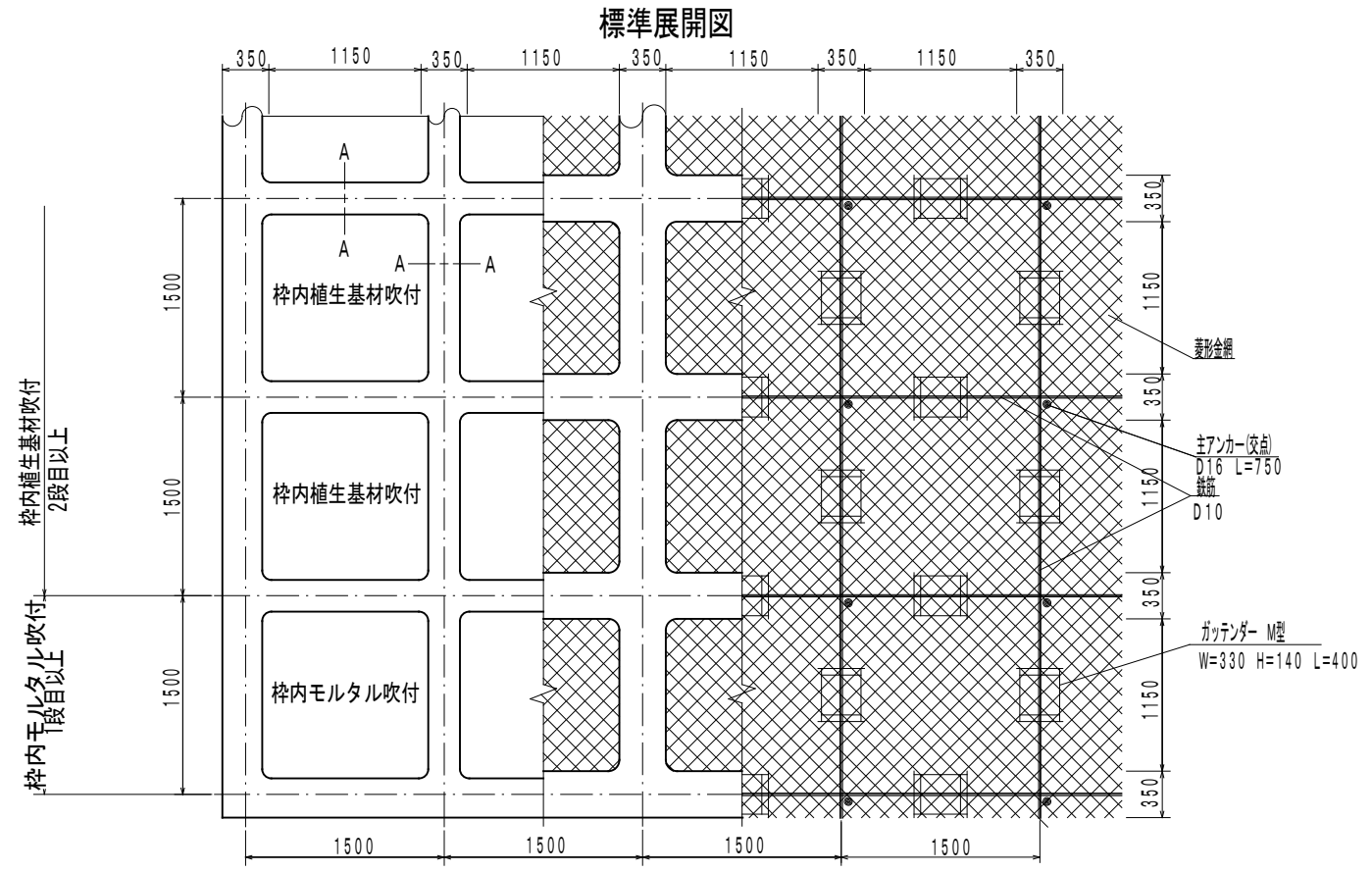
各種数量計算表

測点名	距離 (m)	仮設防護柵 撤去		仮設工 仮設防護柵H=2.0m									
		延長	小計	延長	小計	延長	小計	延長	小計				
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)				
No. 0													
No. 1	10.0				10.0								
No. 2	3.0				3.0								
No. 3	3.0				3.0								
No. 4	3.0				2.0								
合計	19.0				18.0								
設計数量					18.0								

標準断面図 S=1/100



簡易法砕工標準施工図 S=1/40
(ソイルクリート Mタイプ 1500)



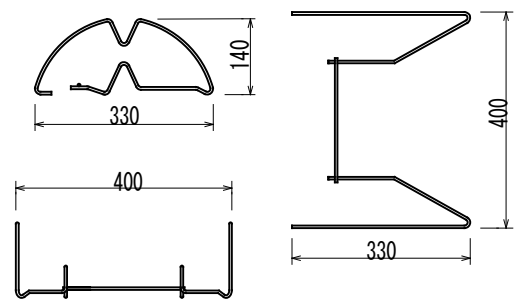
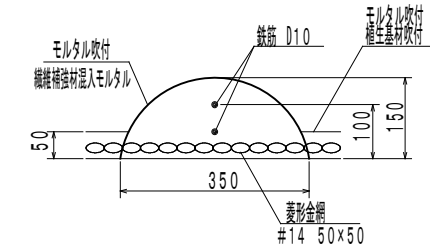
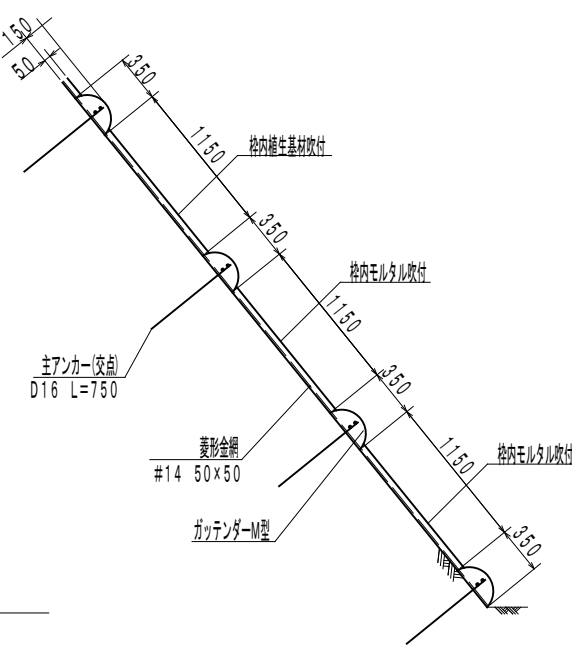
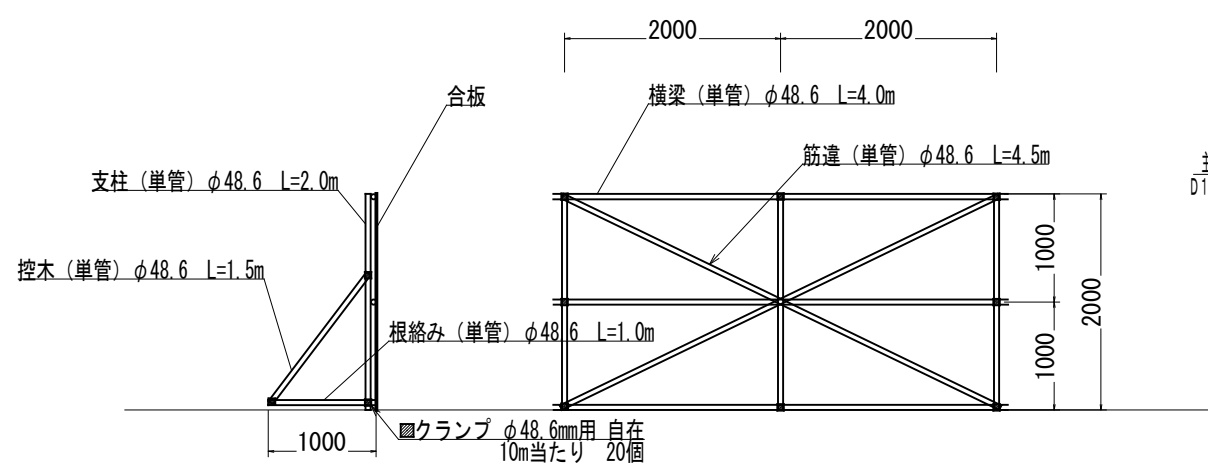
標準断面図 S=1/40

A-A断面 S=1/10

ガッテンダーM型部材模式図 S=1/10

仮設工 S=1/50

単管
参考図



使用材料表

ソイルクリート Mタイプ1500
砕内吹付工 t=5cm

材料名	規格	規格	数量	割増率
ラス網	#14 50×50	m ²	140.0	4.0%
ラス用アンカー	φ16 L=400	本	30	
ラス用補助アンカー	φ9 L=200	本	150	
鉄筋	D10	kg	188.8	17%
主アンカー(交点)	D16 L=750	本	52	
組立枠	ガッテンダーM型 W=330 H=140 L=400	個	94	
砕用シート	Mタイプ 1500用	枚	42.3	
砕モルタル吹付		m ³	5.27	
砕内植生基材吹付・砕内モルタル吹付 t=5cm		m ²	55.9	

年度	令和 7 年度	
事業名	小規模崩壊地復旧	事業
施工地	広島県三原市新倉一丁目	
名称	構造図	
図面番号	1 - 1 縮尺	図示
施工主体	三原市	
課長	課長補佐	係長 設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会	
主任技術者	設計	製図 測量

位置図

(34.393321、133.054572)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。